



平成28年度「建設労働災害防止大会」を開催しました

飯豊山系砂防事務所工事安全協議会が、建設現場での事故防止に向けて、安全を再確認！

飯豊山系砂防事務所工事安全対策協議会（構成：飯豊山系砂防事務所及び事務所発注工事等受注者）では、建設労働災害防止を目的に安全意識の高揚を図るため、10月25日に関川村の「関川村村民会館」において「建設労働災害防止大会」を開催しました。

大会には、来賓等3名、事務所職員10名、工事等受注者28社47名の計60名が参加し、現場での事故防止について再確認しました。

大会へは来賓として、新発田労働基準監督署安全衛生課長・村上警察署地域課長にご出席いただき、新発田労働基準監督署安全衛生課長からは新発田労働基準監督署管内の労働災害の発生状況などから日常点検の重要性を、村上警察署地域課長からは村上地域の特性を踏まえた交通事故防止に関わるご挨拶を戴きました。

また、副会長より本年の北陸管内工事事故の発生状況や傾向について説明し、度重なる災害発生に対し、安全対策を行う必要性を訴えました。

そして、会員代表（（株）小池組の大滝氏）より、「安全宣言」が読み上げられ、労働災害や公衆災害の撲滅に向け更なる安全対策に努めていくことを、出席者全員で確認しました。

大会後半は『講演会』として、前北陸地方整備局企画部環境調整官上原信司様より『**蒲原沢土石流災害とその教訓**』から、実際の土石流危険渓流での安全対策が、この災害を機にどのように変わったのかを理解し、実効ある砂防工事の安全対策とはどのようなものであるかを学びました。



安全宣言



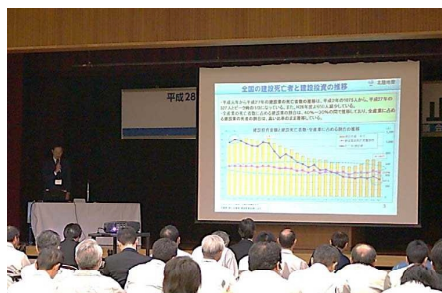
新発田労働基準監督署
安全衛生課長挨拶



村上警察署
地域課長挨拶



会場の様子



副所長による本年度の事故
発生状況の報告



『蒲原沢土石流災害とその教訓』
について上原様より講演